

## アジア開発銀行千野総裁が勇退の意向表明

マニラ、フィリピン（2004年8月31日） - アジア開発銀行（ADB）千野忠男総裁は、本日、2005年1月31日をもって勇退する意向を表明した。千野氏は1999年1月16日にADB総裁に就任し、明年1月の退任時までの総裁在任期間は6年間となる。

千野氏は、退任の意向を本日の理事会で表明するに際し、次の通り述べた。「退任表明に当たり、皆さんと共に多くの成果を挙げてきたことを思い起こします。1997-98年のアジア金融危機の影響を受けた多くの国が、今や強固な持続的成長の軌道に戻りました。また、全ての加盟国の強い支持によりアジア開発基金の第8次財源補充（ADFIX）が成功裡に決着しました。更に、これまでの多くの改革に加え、ADBの新しい改革アジェンダが着実に推進されつつあります。アジア開発基金の第8次財源補充のカバーする期間が2005年1月にスタートすることでもあり、このタイミングでADBを去り日本に帰ることが時宜を得たものと考えた次第です。しかし、ADBは未だ多くのことを成し遂げていかなければならず、私はADBでの最後の日まで、総裁としての責任を果たすため最大限の努力をしていく所存です。」

千野氏は、アジア・太平洋地域にとって試練の時期にADB総裁を務めた。就任当時、アジアのいくつかの国は、1997-98年のアジア金融危機の影響に苦しんでいた。当時ADBの最も緊急の課題は、アジア経済を一刻も早く回復軌道に乗せることであり、また、金融危機によって最も影響を受けた貧困者及び弱者を支援することであった。

千野氏の就任後直ちに、ADBは、貧困削減が最重要目標であることを宣言した。これを受けて、1999年11月、ADBは、「貧困削減戦略」を採択した。この戦略に基づき、より貧しい加盟国への譲許的支援の原資となるアジア開発基金の第7次財源補充交渉（ADFVIII）が開始され、この増資交渉は2000年に成功裡に決着した。同年、経済成長の促進と雇用の創出を通じて貧困削減のための重要な武器となる「民間セクター開発戦略」が採択された。

2001年には、初めて、ADBの「長期戦略」が採択された。これは、ADBの戦略的方向性と業務のガイドラインを示し、開発途上加盟国とアジア地域が2015年までに「ミレニアム開発目標」を達成することを支援するための長期的なビジョンである。

2002年にはADBの抜本的な組織再編成を実施したが、これは、「駐在員事務所政策」(原則として、ADBの全ての開発途上加盟国にADBの駐在員事務所を設け、かつその機能を強化する政策)と相俟って、ADBとその開発途上加盟国の関係をより緊密にし、ADBがその使命をより効果的に果たしていくことを可能とした。

本年になってまとめられた「改革アジェンダ」は、実施中の改革及び多くの新たな改革を通じ、ADBの開発効果を強化するための新たな枠組みを提供している。

/...2

千野氏は、アフガニスタン、カンボジア、スリランカ、東チモール等で紛争後の復興・再建にADBが積極的役割を果たしてきたことを喜ばしく思うと述べた。更に、ADBは、その設立協定が求めている通り、参加国間の結びつきの強化、国境を越えた問題への対応、金融面での協力など様々な地域協カイニシアティブを支援してきた。

本年5月には、28カ国のドナー(資金拠出)国により、2005年から2008年の4年間をカバーする70億ドル(新規に導入された無償援助を含む)に及ぶ第8次アジア開発基金財源補充(ADFIX)が成功裡に合意された。

千野氏は、40年前、ADBの設立に携わっており、ADB総裁としての職務は、若い頃からのADBとの関係を締め括るものとなった。即ち、1964年、千野氏は、ECAFE(国連アジア極東経済委員会)に招かれ、その年の秋に開催されるADB設立に関する最初の専門家作業部会のための書類を作成した。この書類を議論のたたき台としてまとめられた作業部会の報告書が、1966年のADB設立の礎石となった。

「私の総裁としての任期中にADBが多くのことを達成してきたことを喜ばしく思います。マネジメント・チームは強化され、スタッフは有能かつ献身的であり、信頼してADBの今後を任せることができます。私は、大きな満足感と感謝の気持ちを持って退任することができます」と千野氏は述べている。

しかし同時に千野氏は、今は、気を緩めたり、過去のことを思い浮かべている時ではないと述べている。「我々は、これから改革アジェンダの実施に取り組みねばなりません。アジアの

---

Media Inquiries Only

ADB NR 0/04

アジア開発銀行駐日代表事務所

Tel: (03) 3504-3160

Electronic versions of ADB news releases

Online Media Center: <http://www.adb.org/media>  
Internet site: <http://www.adb.org>



開発途上国は、最近の目覚ましい経済成長に拘わらず、なお貧困削減を含む多くの課題に直面しています。私の後任者を選出する手続きの関係上、今、退任の意向を表明する必要がありますが、今年に残された期間でやらなければならない緊急の課題が多く残されています。総裁としての最後の日まで、アジア・太平洋地域の開発と貧困削減に最善を尽くして参りたいと思います。」

千野氏の退任の意思表示を受け、後任の選出手続きが開始される。その決定は ADB 総務会によりなされ、その結果は然るべく発表される予定である。

\*\*\*\*\*

---

**Media Inquiries Only**

ADB NR 0/04

アジア開発銀行駐日代表事務所

Tel: (03) 3504-3160

**Electronic versions of ADB news releases**

Online Media Center: <http://www.adb.org/media>

Internet site: <http://www.adb.org>

